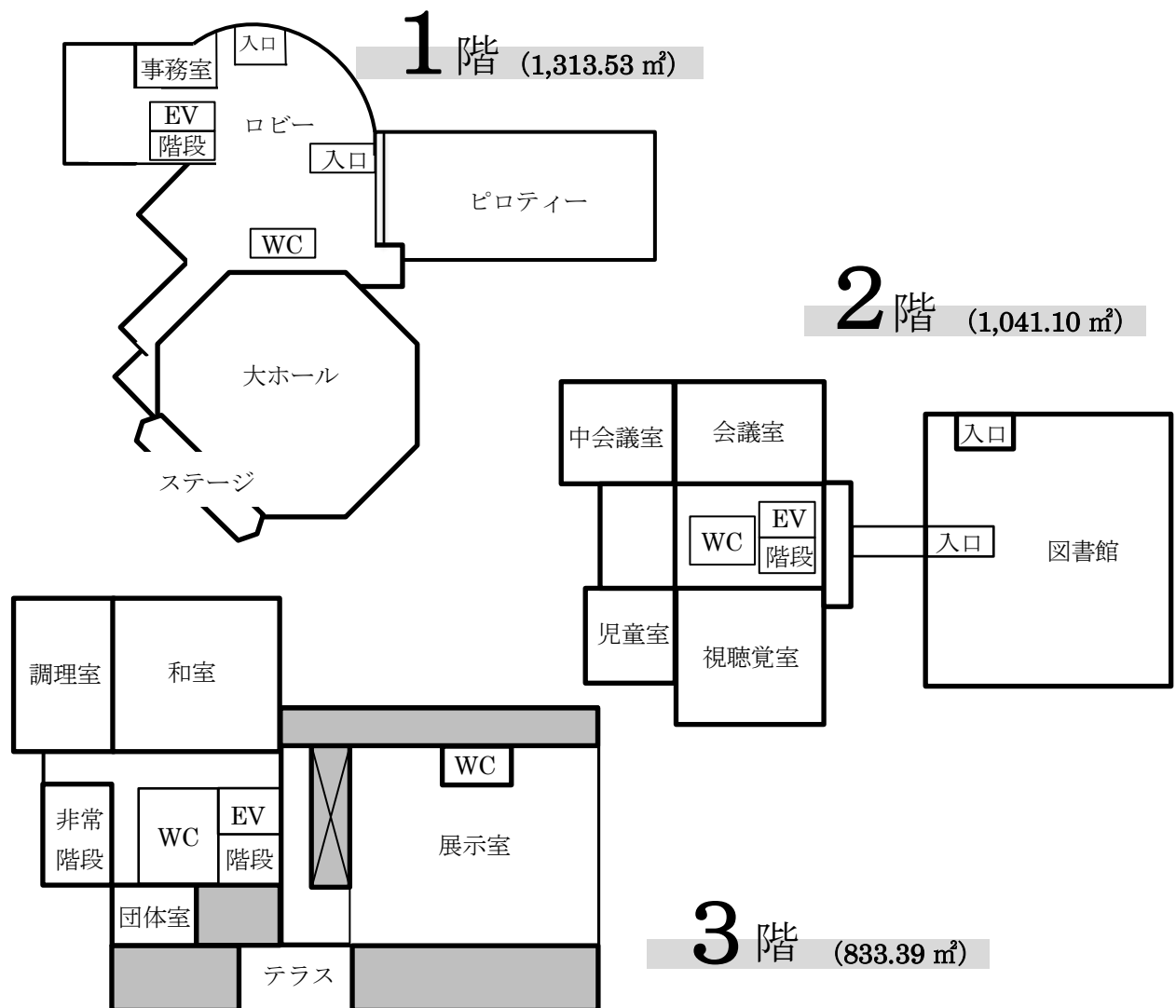


首里公民館



利 用 施 設 の ご 案 内



部 屋 名	利用人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	300 人程度	講演会・研修会 (ピアノ・イス・テーブル)
ロ ビ ー		市民の憩いの場、学習スペース (50 席)
ピ ロ テ ィ ー	100 人程度	工作活動・野外の発表会 (野外ステージ)
ふれあいファーム		講座で使用する畑、軽易な遊び
会 議 室	30 人程度	研修会・講座・会議 (イス・テーブル)
中 会 議 室	20 人程度	研修会・講座・会議 (イス・テーブル)
視 聴 覚 室	30 人程度	視聴覚機器を利用した学習会・講習会 (イス・テーブル・DVD デッキ)
児 童 室	15 人程度	子どもの活動の場・会議 (イス・テーブル)
和 室	25 人程度	茶道・生け花・和裁・着付け等 (テーブル)
展 示 室	約 400 m²	学級、各団体の作品及び書道、写真等の展示
調 理 室	25 人程度	調理実習 (7 調理台・料理用器具等)
団 体 室	10 人程度	利用団体の連絡事務・少人数の会議 (イス・テーブル)

I 首里公民館の沿革

設計にあたっては一般公募（競技設計）方式を採用している。1982年（昭和57年）12月18日建設に着工、翌年の1983年（昭和58年）11月30日に竣工した。

同館は首里城の北東部、古くは蓮小堀（リングムイ）、その後の首里バスターミナル跡に位置している。首里城公園をちかくにひかえていることから、付近の景観とバランスを考慮した設計になっている。ホールと展示室の屋根には銅板を冠し、全体的に丸みを帯びた形になっている。

1983（昭和58）年9月1日	那覇市首里公民館開館準備のため主査 仲松弥寿博が発令された。
11月1日	那覇市首里公民館の発足に伴い、主査 仲松弥寿博が配置された。
11月30日	那覇市首里公民館の開館式が行われた。
12月15日	自主グループ・サークルへの施設の提供が始められた。
1984（昭和59）年2月8日	公民館講座が開始された。
3月17日	第1回首里公民館まつりが開催された。
1985（昭和60）年11月1日	首里公民館利用団体連絡協議会が結成された。
1986（昭和61）年4月1日	主事が公民館主事に職名変更された。
1987（昭和62）年4月1日	主査 仲松弥寿博配置替えにより、主査 佐久本全が発令された。
8月1日	「広報龍樋」が創刊された。
1989（平成元）年6月13日	那覇市保育室運営要綱（公運審答申）に基づいて、乳幼児学級に保育室が設置された。
1990（平成2）年4月1日	主査が館長に職名変更された。
12月7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰された。
1992（平成4）年4月1日	館長 佐久本全配置替えにより、館長 平良豊宏が発令された。
1993（平成5）年2月18日	平成4年度沖縄県生涯学習振興大会において社会教育功労施設として表彰された。
1994（平成6）年1月29日	首里公民館開館10周年記念式典、祝賀会及び記念公演「組踊と舞踊の鑑賞会」が行われた。
4月1日	館長 平良豊宏配置替えにより、館長 高江洲盛雄が発令された。
1996（平成8）年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増。
11月1日	第49回優良公民館として文部大臣表彰を受けた。
1997（平成9）年4月1日	館長 高江洲盛雄配置替えにより、館長 宮里憲幸が発令された。
2001（平成13）年4月1日	館長 宮里憲幸配置替えにより、館長 新垣紀夫が発令された。
2003（平成15）年12月6日	首里公民館開館20周年記念式典・祝賀会が行われ、記念誌が発刊された。
2004（平成16）年2月15日	首里公民館開館20周年記念講演会「関東公演成功までの軌跡」が行われた。
2004（平成16）年4月1日	館長 新垣紀夫配置替えにより、館長 手登根朗が発令された。
2005（平成17）年4月1日	社会教育指導員1減。
2008（平成20）年4月1日	館長 手登根朗配置替えにより、館長 上原昭則が発令された。
2008（平成20）年12月13日	開館25周年記念式典を1階ホールにて行なう。
2010（平成22）年4月1日	館長 上原昭則配置替えにより、館長 下地敏雄が発令された。
2012（平成24）年4月1日	館長 下地敏雄配置替えにより、館長 渡嘉敷宗清が発令された。
2013（平成25）年4月1日	館長 渡嘉敷宗清配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。

2013（平成25）年11月30日	首里公民館開館30周年記念式典・祝賀会が行われた。
2014（平成26）年3月4日	第66回優良公民館として文部科学大臣表彰を受けた。
2015（平成27）年3月31日	首里公民館開館30周年記念誌が発刊された。
2016（平成28）年4月1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
2018（平成30）年4月1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 上原堅次郎が発令された。
2020（令和2）年4月1日	館長 上原堅次郎配置替えにより、館長 細田聖子が発令された。
2022（令和4）年4月1日	館長 細田聖子配置替えにより、館長 宮平佳樹が発令された。

Ⅱ 令和3年度首里公民館事業目次

1 学習風景（写真）	49
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇センスアップおうち時間	50
〔2〕 成人講座	
◇首里防災散歩	51
3 高齢者対象事業	
〔1〕 高齢者学級	
◇「守礼大学」～王都首里めぐり～	52
4 青少年対象事業	
〔1〕 少年教室	
◇貝がらコラージュで夏の思い出作り	53
◇みんなで考えようSDGs	54
〔2〕 青年講座	
◇お金とライフプラン	55
〔3〕 親子ふれあい教室	
◇親子で作るちんすこう	56
5 家庭教育事業	
〔1〕 家庭教育学級	
◇宇宙の学校 in 首里公民館	57
〔2〕 乳幼児学級	
◇はじめての育児を楽しもう！～すくすく編～	58
6 その他の事業	
〔1〕 地域連携事業	
◇みんなで首里城プロジェクト	59

1 学習風景



市民講座

「センスアップおうち時間」



成人講座

「首里防災散歩」



高齢者学級

「守礼大学 王都首里めぐり」



少年教室

「貝がらコサージュで夏の思い出作り」



親子ふれあい教室

「親子で作るちんすこう」



家庭教育学級

「宇宙の学校 i n 首里公民館」

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

センスアップおうち時間

趣 旨：これから新生活が始まるという人や、おうち時間が増えているという人へ向けて、ストレスフリーを目指し、快適空間で過ごすための、センスアップなインテリアコーディネート術について学習する。

期 日：令和4年2月26日（土）

時 間：14:00～16:00

場 所：首里公民館（視聴覚室）

対 象：那覇市在住または在勤・在学の人

受 講 料：無料

定 員：先着15人 申込人数：16人（うち受講決定人数16人） 参加人数：12人

講 師：前森 章子（インテリアコーディネーター／合同会社くらしVIS 代表・株式会社クラシコ取締役）

★★ 学習プログラム ★★

- ・インテリアスタイルを整える
- ・色を楽しむこと



【参加者の声】

- ・センスアップおうち時間の2回目待ってます。
- ・テーブルコーディネートやカーテン、玄関のインテリア、トイレなど細かい場所について、第2回として実践的なことを教えてほしい。
- ・とてもわかりやすく、楽しい講座でした。前森先生の講座をまた開いてほしいです。
- ・カラーでインテリアが変えられることを知り、勉強になりました。ありがとうございました。

【まとめ】

申込時の参加希望者が多かったことから、コロナ禍の自宅での生活をより豊かにしたいと考え、インテリアコーディネートについて興味を持つ人が多いことが伺える。講師の前森先生は、インテリアの基本的なことは、インテリアスタイルを整えることと色を楽しむことだと話され、その基本的なことを解りやすくスライドや写真などで、事例を上げながら解説していただいた。また、インテリアコーディネートでは対比の色を取り入れる場合があるということで、対比の色を確認するための実験として、白紙に描かれた丸い色を、無地の方へ目を移すと別の色が浮かび上がるという体験をした。インテリアコーディネーターという特殊な職業の方のお話は、とても興味深く質問も多数あり、大変有意義な時間であったと思う。

〔２〕 成人講座

首里防災散歩

趣 旨：実際に災害が起こった時にどのような行動をとる必要があるか。前もって確認する事や具体的な行動の取り方、実際に歩いて避難経路や危険な場所、注意が必要な箇所等を確認する。

場 所：首里公民館ホール 首里大中町・首里桃原町・首里金城町

期 間：１月２４日（月）～２月２１日（月）全４回

時 間：１４：００～１６：００

対 象：那覇市首里在住・在学・在勤の２０歳以上の人

受 講 料：無料（但し、保険料１００円は自己負担）

定 員：４０人 申込人数：２０人（うち受講決定人数１７人）

参加延べ人数：３８人

講 師：稲垣 暁（災害・孤立貧困ソーシャルワーカー・防災士、
災害プラットフォームおきなわ共同代表理事）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日程	内容	参加人数
①	１月２４日（月）	防災の基礎（首里の地質、雨と地震、災害時の水と食）	１１人
②	１月３１日（月）	避難経路の確認（首里大中町・首里桃原町）	９人
③	２月１４日（月）	避難経路の確認（首里金城町）	７人
④	２月２１日（月）	避難先での過ごし方（防災グッズの使い方、車中泊について）	１１人

【参加者の声】

- ・ゆっくりと周囲の景色をながめながら、見て回れたので楽しかったし、有意義だった。
- ・地域の防災上の特徴を教えていただいて勉強になった。
- ・水の運び方は参考になりました。昔の事など思い出しました。
- ・身近に存在する、危険な場所、ほとんど知らず説明を受けて良く理解できた。
- ・実的な水の運び方を学べて良かった。
- ・若手人気上昇中芸人（首里のすけさん）が参加していただいてより盛り上がった。



【まとめ】

初回は、沖縄の災害リスクを自然環境と、社会環境の視点から掘り下げた。２～３回目は、実際に街歩きをしながら危険な箇所や避難経路を確認し、湧き水のある場所も回った。街歩きの際、講師の説明よりも地域の方々にその地域のお話や最近起きた災害の説明して頂く事も多く、防災に関するお話もさることながら地域の歴史や現状についてお話が伺えた。

最終回は、街歩きの振り返りとともに実際に災害が起きた際、給水車等から給水した後、どのように運ぶか、実際に体験した。リュックやキャリーケースに段ボールとビニール袋を入れて、それに水を入れるととても運びやすいということがわかった。また、てんびんぼうを使って水を運ぶということも行ったが、受講生の中は、若いころに実際にてんびんぼうを使って水を汲んで運んだことのある方がいて、体験するうちに記憶がよみがえり、みんなでその話を聴いて盛り上がった。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

守礼大学～王都首里めぐり～

趣 旨：王都首里にふさわしい御殿・殿内の屋敷跡や首里に多く存在する拝所の御獄、自然の景観を活かした名勝地などを実際に歩いて観て回り、健康的かつ楽しく学習する。

期 間：令和4年3月2日（水）～3月30日（水）全5回

時 間：9：00～12：00

場 所：首里公民館 視聴覚室 首里各地

対 象：那覇市在住・在勤の60歳以上の人で健康で2～3時間程度歩ける人

受 講 料：無料（但し、テキスト代・保険料等1,000円は自己負担）

定 員：15人 申込人数：81人（うち受講決定人数15人）

参加延べ人数：56人

講 師：高里 盛国（元高等学校教諭・現県立博物館交流員）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日程	内容	人数
1	3月 2日（水）	赤田町・崎山町・鳥堀町	12人
2	3月 9日（水）	汀良町・久場川町・赤平町	11人
3	3月16日（水）	末吉町・平良町・儀保町	11人
4	3月23日（水）	当蔵町・大中町・池端町	10人
5	3月30日（水）	金城町・真和志町・寒川町・首里城木曳門	12人



【参加者の声】

- ・あっという間に5回の講座が終わったような気がする。こういう講座をもっとやってほしい。
- ・初めての受講で色々知っているようで知らないことが多かったので、年に何回かに分けて講座を催してほしい。もっと首里について知りたいと思う。
- ・首里と近隣の村々との繋がりや、昔の石敷道や馬場や市場、宿場街跡、旧家の跡や、それぞれの歴史背景に基づく物語等、大変勉強になりました。高里先生、はじめスタッフの皆様には大変お世話になりました。琉球王国の偉大さをあらためて認識でき、大変良かったです。

【まとめ】

令和2年度は開催出来なかった守礼大学は、3月にやっと開催することが出来、少人数での開催であったことから全体の一体感が生まれ、雨天が続く中長距離の散策も楽しく歩くことが出来た。

4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

貝がらコラージュで夏の思い出作り

趣 旨：小学生のコロナ禍での夏休みは、外出が制限され、思い出作りもなかなかできない状況である。そこで、家族との楽しかった思い出や、これまでに見た景色などを思い浮かべながら、自由な発想で、夏の思い出というテーマで貝がらを使いコラージュ作品を制作する。

配信期間：令和3年8月13日（金）～8月22日（日）

場 所：Y o u T u b eにて動画配信

対 象：那覇市内の小学生

受 講 料：無料（但し材料費350円は自己負担）

定 員：先着10人

申込人数：12人（うち受講決定人数12人）

参加人数：9人

視聴回数：38回

講 師：古堅 裕子

（色彩コミュニケーション色ひろば 代表）



★★ 学習プログラム ★★

貝がらやパステルカラー、その他様々な材料を使用し、小さなキャンパスに自分なりのアイデアや創造性を活かし、コラージュ作品を作っていく。

【参加者の声】

- ・もっといろんなものをやりたいと思いました。
- ・貝がらだけではなく色んな材料を使ってコラージュ出来る事がとてもためになりました。
- ・男の子2人だったので、コラージュ喜ぶか心配でしたが、思いのほか楽しんでくれました。作品を部屋に飾ると張り切っています。動画もわかりやすく助かりました。
- ・はじめて貝がらで作れる物があるとわかりました。



【まとめ】

夏休みの期間中に開催した当講座は、座学が中止となったことで、自宅でも工作が出来るように、動画を制作し、Y o u T u b e 限定配信という形で開催することとなった。動画を見ながら、子供達は作品を完成することが出来るのか心配ではあったが、数人の方から完成した作品をデータで送られてきたことで、ちゃんと作れたことが分かった。また、参加者の皆さんが貝がらコラージュをやることで、それが夏休みの思い出になってくれていたら嬉しい。



みんなで考えようSDGs

趣 旨：近年よく耳にするSDGs（持続可能な開発目標）について、沖縄にある企業や団体からその取り組みや現状、問題点について学習する。

配信期間：令和4年3月25日（金）～4月30日（土）

場 所：YouTube配信（首里公民館YouTubeチャンネル）

対 象：小学校4～6年生

受講料：無料

定 員：無制限

視聴延べ回数：281回

講 師：島津 典子（沖縄県企画部企画調整課SDGs推進室長）

新垣 伝（新垣養蜂園副代表）、

藤井 晴彦（沖縄自然環境ファンクラブ代表）

坂本 賢修（農林中央金庫那覇支店長）



★★ 学習プログラム ★★

回数	タイトル	講師	視聴回数
①	「SDGsってなあに？／沖縄県のSDGsの取り組みについて」	島津 典子	39回
②	「ミツバチから学ぶSDGs」	新垣 伝	53回
③	「那覇に残された森から考えるSDGs」	藤井 晴彦	160回
④	「金融機関が取り組むSDGs」	坂本 賢修	29回

【参加者の声】

- ・SDGsへのそれぞれの立場の取り組みが面白かった。
- ・説明がわかりやすく、納得感があった。
- ・金融機関とサステナビリティのつながりがわかった。
- ・とてもわかりやすい説明でした。資料も見やすかったです。



【まとめ】

近年、テレビやラジオ、インターネットで見ない、聞かない日は無いというくらい「SDGs」という言葉であふれている。とはいうものの「SDGs」っていったい何だろうと考え企画し、県内でSDGsに取り組んでいる団体や企業の方々にお話ししていただき、撮影してYouTubeで配信した。

初回の沖縄県SDGs推進室の島津氏は、SDGsとは何か、沖縄県のSDGsの取組状況についてわかりやすく説明された。

2回目の新垣養蜂園の新垣氏は、首里や那覇の風や風景を感じるまさにミツバチの視点に立ちながら、ミツバチの行動が自然や、人間社会に及ぼす影響や講師自身のSDGsに関わる活動について述べていた。

また、3回目の沖縄自然環境ファンクラブの藤井氏は、沖縄の自然の特徴や那覇に残された森（末吉公園）にいる植物や生物について説明があった。その中でも世界から見ても沖縄は特殊な環境であるという話がとても印象的だった。

最終回の農林中央金庫の坂本氏は、農林水産業や金融業が取り組む持続可能な開発目標とはどういったものであるか具体例を交えつつ、時折クイズを盛り込みながら話していた。

〔2〕 青年講座

お金とライフプラン

趣 旨：情報社会の今だからこそ、正しい情報と知識を早いうちから習得し、将来についてのライフプランを考えることで、より豊かで有意義な人生設計を立てる能力を身に着ける学習。

期 日：令和3年7月17日（土）

時 間：14：00～15：00

場 所：インターネットアプリMicrosoft Teamsを利用

対 象：那覇市在住または在勤か在学の18歳以上の人

受 講 料：無料

定 員：先着15人

申込人数：11人（うち受講決定人数11人）

参加人数：5人

講 師：慶田城 裕（沖縄県金融広報委員会金融広報アドバイザー／
有限会社ライブアップ取締役）

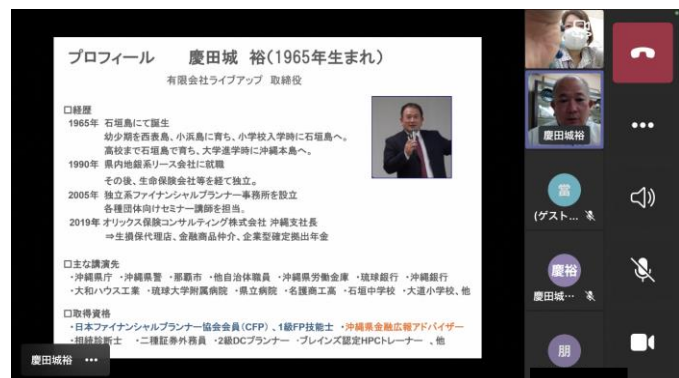
★★ 学習プログラム ★★

- ・災害時の備えについて必要なこと
- ・沖縄の車社会において、必要とされる総支出経費を考える
- ・奨学金制度がもたらす問題点などの対応について
- ・貯蓄と保険の特徴を知る



【参加者の声】

10代のお金のプランについてもう少し聞きたかったです。ありがとうございました。



【まとめ】

若い年齢からライフプランを考える能力を身につけることが、より望ましいとのことで開催した青年講座は、若い年齢層に関係する、奨学金や車社会における経費等、また将来の保険や貯蓄について、講師に分かりやすく説明いただいた。そして、コロナ禍での厳しい状況下では、ライフプランを考えることは避けなくなる内容ではあるが、それでも正しい情報を今得ることの重要性が実感できたと思う。

〔３〕 親子ふれあい教室

親子で作るちんすこう

趣 旨：沖縄の伝統的なお菓子「ちんすこう」を親子で楽しく作ることで、親子の会話やふれあいを育むことと、沖縄の伝統と文化にふれることを目的とする。

配信期間：令和３年１０月８日（金）～１０月２４日（日）

場 所：ＹｏｕＴｕｂｅにて配信

対 象：那覇市内の小学生と保護者

受講料：無料

定員：無制限 申込人数：２２組（うち受講決定人数２２人）

視聴延べ回数：５６回

講 師：荒木 喜代子（那覇市社会教育指導員ＯＢ会会長）

助 手：土屋 恭子（那覇市社会教育指導員ＯＢ会）

新里 史子（那覇市社会教育指導員ＯＢ会）



★★ 学習プログラム ★★

- ・ちんすこうの歴史的な背景についての講話
- ・基本的なちんすこうの作り方
- ・応用編ちんすこうの紹介



【参加者の声】

- ・県外出身者なので沖縄の伝統的なものについてもっと学んでみたいです。
- ・ちんすこうの作り方を丁寧に説明してくれたので解りやすかったです。美味しくちんすこう焼けたので子供達も喜んでます。今回はオンライン講座だったので、日程や時間を気にせず参加できて良かったです。またこのような講座がありましたら、参加したいです。
- ・今回のような、沖縄の伝統的なお菓子や習慣についての講座をやってほしい。
- ・今回のように伝統お菓子や料理などの講座を増やしてほしい。
- ・今回のような楽しみながら簡単に出来る講座をやってほしい。

【まとめ】

「ちんすこう」を食べたことはあっても作ったことがないという人がほとんどではないかと考え、「ちんすこう」の歴史的な背景についての講話を交えながら、親子で楽しく作れるような、解りやすい動画の制作を心掛けた。アンケート結果から、動画を視聴することで、沖縄の文化や歴史に興味を示していただいたことが伺える。今後も沖縄のお菓子作りや料理を手軽に体験できる講座を、動画で配信できるようにしていきたい。

5 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

宇宙の学校 in 首里公民館

趣 旨：宇宙や自然科学をテーマにしたお話、工作や課題学習を行うことで、好奇心や探求心を豊かに備えた明るく元気で創造的な子どもを育てるとともに、親子のコミュニケーションを深める。

(JAXA宇宙教育センター認定NPO法人KU-MA) 共催でテキストを中心に家庭で実験や工作を行い、ZOOMで2回、対面で1回講義を行う。

期 間：8月14日(土)～12月4日(土) 全3回

時 間：10:00～12:00 (3回目のみ19:00～21:00)

場 所：那覇市人材育成支援センターまーいまいNaha (ZOOM配信)、首里公民館展示室 (対面)

対 象：那覇市内の小学校1～3年生の親子

受 講 料：無料 (但し、材料費・保険料1,000円は自己負担)

定 員：親子10組

申込人数：10組 (うち受講決定人数10組12人)

参加延べ人数：52人

講 師：稲葉茂 (JAXA宇宙教育センター認定NPO法人KU-MA)、
田端研二 (元首里公民館長)



★★ 学習プログラム ★★

回数	日程	内容	参加人数
1	8月14日(土) 10:00～12:00	宇宙の学校について、直近の宇宙に関する話題、望遠鏡の歴史と星に関するクイズ、望遠鏡の作り方 (ZOOM配信)	親子10組 (12人)
2	10月9日(土) 10:00～12:00	飛行機の歴史、熱気球はなぜ飛ぶのか (ZOOM配信)	親子8組 (10人)
3	12月4日(土) 19:00～21:00	星座早見盤を使ってみよう、望遠鏡を組み立ててみよう (対面)	親子8組 (30人)

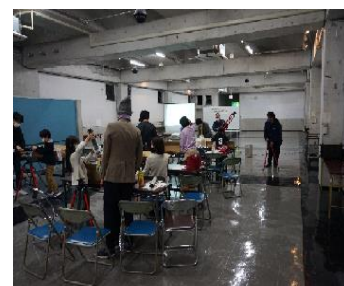
【参加者の声】

- ・ぼうえんきょうで見るのがぼやけてただけでちょうせいしてちょっと見えてうれしいです。
- ・実際に親子が手を動かしながら、科学の知識を飽きずに学ぶことができた。
- ・取り組みやすかった。家族と一緒に絵を描いたり楽しめました。
- ・ききゅうがとんでたのしかったです。
- ・ねつききゅうをとばすのが、たのしかった。
- ・ききゅうでセロハンテープがひっついてむづかしかったです
- ・出来上がった望遠鏡で、さかさまのお月様をみれたことが楽しかったです。

【まとめ】

例年、100組前後の親子でスクーリングを行い、大掛かりな装置を使用した実験等を行っていた。しかし、今年度もコロナ禍ということでZOOMを使用し、少人数で行った。

オンラインに慣れないながらもKU-MA (JAXA宇宙教育センター認定NPO法人) やまーいまいNahaの職員にも助けていただきながらどうにか開催することができた。最終回は、対面にて講座を行うことができた。試行錯誤しながら望遠鏡を組み立てて、覗いてみると児童よりも保護者の方が楽しんでいる姿が多々見られた。



〔２〕 乳幼児学級

はじめての育児を楽しもう！～すくすく編～

趣 旨：ママと赤ちゃんの心と身体の悩みを、同じ気持ちのママと時間を共有し、直接講師へ相談することで、親子がこれからも健やかに過ごすための支援を行う。

期 間：令和3年11月30日（火）～12月7日（火）全2回

時 間：10：00～10：30

場 所：オンラインZOOM講座

対 象：那覇市在住・在勤または在学で、第1子をもつ親

受 講 料：無料

定 員：先着10組

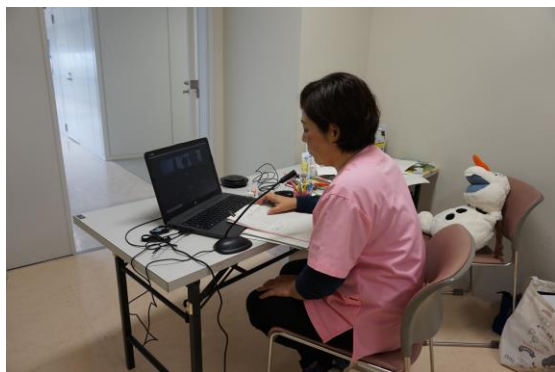
申込人数：6組（うち受講決定人数6組）

参加延べ人数：9組

講 師：小山 みどり（沖縄県歯科衛生士会地域保健理事）
百名 奈保（助産院きらきら代表）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	講 師	人数
1	11月30日（火）	歯の健康について	小山 みどり	5組
2	12月 7日（火）	ママと赤ちゃんの心とからだについて	百名 奈保	4組



【参加者の声】

講師のお話はとても参考になりました。直接質問出来たのも良かったです。

【まとめ】

座学を予定していた乳幼児学級が中止となり、オンライン講座として新たに企画をし、開催した講座であったが、急な変更のため申込者が少なく、少人数での開催となった。しかしコロナ禍において自宅にしながら、病気や日々の健康について、直接講師と会話をしながら相談が出来るという形の講座は、とても充実した内容であったと思う。参加者からの質問は、子どもの月齢によって内容も様々であったため、質問に対する講師の回答を通して、参加者同士の情報共有にも繋がっていったと思う。

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

みんなで首里城プロジェクト

期間：令和3年5月10日（月）～令和3年11月30日（火）

展示場所：首里公民館 1階ピロティ

対象：すべての人 参加料：無料 定員：なし

★★ 事業内容 ★★

多くの方々から写真を応募していただき、その写真を使って首里城の“フォトモザイクアート”を制作。完成した作品は首里公民館1階ピロティにて展示しました。

“フォトモザイクアート”とは、複数の写真をパズルのように組み合わせて、一枚の画として作成したものです。

みんなで首里城プロジェクト

参加無料！
どなたでもご参加
できます！

カンタン♪ 参加までの2ステップ



①赤いアイテムを身に着けて
写真を撮る

赤いアイテムはマスク、帽子、
アクセサリなど なんでもOK！

マスク着用、アプリで撮影した
写真でもご参加できます！



②送る

撮った写真をメールで送信
(アドレス：shurikouminkan@gmail.com)

またはTwitter、Instagramにて
#みんなで首里城プロジェクト
で投稿したら応募完了です！

【まとめ】

首里公民館利用者を中心に、多くの方々にご参加していただいて完成しました。

完成作品は縦2メートル、横3メートルの特大サイズで、地域の方々や通りかかった方々が足を止めてご覧になり、数千枚の写真で作られた当作品を楽しんでいた様子でした。

今後も講座や企画をとおしてより多くの人に公民館を知っていただくきっかけを作っていければと思います。



